

01 再創造の力を体験する

神の生きておられる証拠

教会開拓以来34年間、目の見えない人が見えるようになるなど、韓国内外で数多くの聖徒がいやされて神に栄光を帰した。

02 いのちのみことば

「わたしはある」という神

天地万物を創造する以前、光と声としておられ「わたしはある」という神は人間耕作を計画して三位一体の神として存在し始められた。

03 企画特集

「十字架」に込められた意味

キリスト教の象徴である木の十字架には、私たちに向けられた父なる神の大きい愛、イエス・キリストを通じた救いの摂理が込められている。

支教会11月スケジュール

04 証し

「健康と平安、主のプレゼントです！」

脳梗塞による片麻痺がいやされた韓国のキム・ヨンジ執事と深刻な皮膚病がいやされたフランスのフィル・ボボ兄弟の証し。

万民ニュース

第168号 2016. 10. 23.

MANMIN NEWS

TEL: 82-2-818-7063

www.manmin.org

全く目の見えない人がいやされるみわざが大いに現れ



神は堂会長イ・ジェロク牧師を通して再創造の力を現わし、無数の魂を救いの道へと導いておられる。そんな中で「視覚障がい」がいやされるみわざが現れている。今年8月初めにあった「万民夏のキャンプ」の時も多くの人がいやされて、神に大いに栄光を帰した(写真中央はキャンプ時に講壇をぎっしり埋めた証しをする人と海外聖会の時に証しをする人)。

世には光さえ感じられず、全く見えない障がいを
持った人々がいる。聖書を読むと、盲人の物ごいバル
テマイは「あなたの信仰があなたを救ったのです。」と
イエス様が言われると、すぐさま見えるようになった(マル
コ10章)。また、ベツサイダに住んでいたある盲人と
生まれつきの盲人だった青年も、見えなかった目が見
えるようになって光を得た(マルコ8章、ヨハネ9章)。

約二千年前、イエス様の時だけこのようなことが起
きたのだろうか？ イエス様はくヨハネ14:12で「わたし
を信じる者は、わたしの行くわざを行い、またそれより
もさらに大きなわざを行います。」と言われた。私たち
の教会の聖徒は開拓以来今まで34年間、失明した目
が見えるようになり、視力が回復するなど、驚くべき神
の力あるわざを無数に見てきた。

一例として、マリア・ロドリゲス・ドミンゲス姉妹(当時
12歳)は「2002年ホンジュラス連合大聖会」の期間中、
講師の堂会長イ・ジェロク牧師が導いたラコセチャ教
会一日リバイバル聖会に参加して、2歳の時、熱病で
視力を失って角膜移植手術をしたが、光さえ見られな
かった右目がいやされて、見えるようになった。

左目の白内障手術の後遺症でひどいぶどう膜炎と
網膜の完全剥離現象が起き、眼球萎縮症まで進行し
て結局失明したパク・ゴンウィ兄弟(当時15歳)と、生
まれたとき右目の網膜が損傷して病院で治療不可能と
言われ、左目だけで生活していたホ・ジュン兄弟(当

時6歳)も、イ・ジェロク牧師の祈りを受けて回復した。
ケニアのエリザベス・ナクミカ聖徒(当時27歳)は11
年間苦しみの人生を送っていたが、神の力が込めら
れたハンカチの祈り(使徒19:11~12)を受けて光を見
始め、人と物も見えるようになった。

今年8月8日、「2016年万民夏のキャンプ」初日のい
やしの集会では、このようなみわざが爆発的に現れ
た。イ・ジェロク牧師の祈りを通して、がん、脳損傷、
言語・聴覚・歩行障害などのいやしはもちろん「目」に
関連した病気が数えきれないほどいやされて、神に
大いに栄光を帰した。

パク・ナムスン執事(70歳、2大14教区)は白内障を
病んで2012年に両目の手術を受けたが右目がよく見
えず、2015年に再手術を受けた。それでも物がチラ
チラ見えて、ふらつきながら歩いていて倒れたりした。
ところが、今年のキャンプで祈りを受けたとき、視野が
明るくなるのを感じ、その後このような症状が消えた
し、遠くにある物もよく見えるようになった(写真1)。

チョン・ジョンウ君(12歳、マサン万民聖潔教会)は
色弱(網膜の円錐細胞異常や視覚経路異常で色を
正常に区別できない)だった。ところが、祈りを受けた
瞬間、講壇にあるライトが明るく見え、色弱テストの結
果、いやされたことが確認できた(写真2)。また、ヨン
・ギュチャン兄弟(16歳、中3宣教会)は先天性の麻痺性
斜視で、真っ直ぐ前を見ると物がぼんやりして重なっ

て見え、横目でにらむようにしてやっと見えていた。彼
もいやされて16年目にして前を真っ直ぐに見て生きて
いけるようになった(写真3)。

パク・ミョンソン執事(78歳、チャンウォン万民教会)
は約3年前から右目がかすんでほとんど見えなかつた
し、夜盲症で夜は外出できなかつた。ところが、祈り
を受けた後、右目がはっきり見えるようになり、夜盲症
もいやされた(写真4)。

この他にもペ・ジョンヒ勸士(51歳、1大大1教区)は
目のアレルギーとかゆみ(写真5)がいやされた。また、
イ・ゲテ聖徒(66歳、2大大19教区)は黄斑変性で二度
手術を受けた後に視野がかすむ症状がいやされて、
証しで栄光を帰した(写真6)。

視力を回復した聖徒の証しも数えきれない。視力
が落ち続けて自分を顧みて悔い改め、今年のキャン
プに備えたというキム・ヒョンモ執事(54歳、2大大15教
区)は左右0.7、0.5から両眼視力が1.0と良くなった(写
真7)。

ソン・イヒ執事(58歳、3大大28教区)は老眼がいや
されて老眼鏡なしに聖書が読めるようになった(写
真8)。イ・アラン勸士(49歳、1大大5教区)は乱視(写
真9)、ヤン・ジョンレ執事(73歳、3大大31教区)は近
視がいやされる(写真10)など、視力を回復した証しが
WCDN(世界キリスト教医師ネットワーク)に寄せられて
続けている。

「わたしはある」という神



堂会長イ・ジェロク牧師

「神はモーセに仰せられた。

『わたしは、
「わたしはある」
という者である。』
…」

(出エジプト記3:14)

それで、神もどのように初め存在されていたのか、スタート点がなければならぬかのように思う。「創造主の神は誰が造られましたか」または「神はいつからおられて、それ以前には何がありましたか」と尋ねる人々がいる。だが、人間的な思考の限界を超えて考えるなら、創造主であり絶対者である神に何かのスタート点があるということがかえっておかしい。

もし神がある時点から存在することになったとすれば、「それ以前には何があったのだろうか」と再び疑問が起こるしかない。また、誰かが神を創造するなり生んだ人がいるなら、神も完全な方になることができなくなる。だから、絶対的で完全な神ならば、当然その生涯の初めもなく、いのちの終わりもなく、ただ「わたしはある」という方でなければならぬ。

これについて<出エジプト3:14前半節>に、神がモーセに「わたしは、『わたしはある』という者である。」と仰せられたと記してある。誰かが神を生んだり造ったりしたのではなく、神はとこしえからすでに存在されていたし、とこしえまでおられる方なのである。

2. 初めに光と声としておられ、三位一体として存在し始められた神

それでは、とこしえから「わたしはある」という神はどんな姿で存在しておられたのだろうか？<ヨハネ1:1>に「初めに、ことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばは神であった。」とある。

ここで「初め」とは、万物が創造される前、ただ神だけがおひとり存在されていたはるか遠い昔のことを言う。被造物である人の限りある経験と知識では決して理解できない、永遠の昔を意味している。このように、永遠の昔から「わたしはある」という神について「ことばは神であった。」と記してある。神が初めに何かのかたちをとられたのではなく、ことばそのものとして存在されていたということだ。

また、<第一ヨハネ1:5>に「神は光であって、神のうちには暗いところが少しもない。これが、私たちがキリストから聞いて、あなたがたに伝える知らせです。」とある。ここで「光」と「暗いところ」という言葉には霊的な意味が入っている。「暗いところ」とは、不正、不法、罪と悪など真理でないすべてのものを意味し、「光」と

は、罪や悪が全くなく、愛、善、正義など真理に属するすべてのものを意味している。

ところで、神は霊的な意味で光であるだけでなく、実際にも光として存在しておられた。このようにことばである神は、あまりにも美しく神秘的な光の中で、清く澄んだ声を含んだかたちとして存在されていた。人が想像できない美しい光の中に、清く澄んでいて甘美でやわらかいながらも、全宇宙にとどろくほどの勇壮な声として存在しておられたのだ。

初めにことば、すなわち、初めの光と声で存在されていた神は、ある時点に至って、人間を創造しようという心を抱くようになられた。互いに愛を分かち合う対象を得ることを望まれたのだ。このような人間耕作についてのすべての計画を成し遂げるために、初めの神は御父、御子、御霊の三位一体の神として存在し始められた。

この時から三位一体の神は具体的なかたちをとることになったが、はたしてどんなかたちだったのだろうか？<創世記1:26>に「さあ人を造ろう。われわれのかたちとして、われわれに似せて。」とあり、三位一体の神のかたちに似せて人が創造された。だから、神のかたちが人と同じかたちであったということがわかる。もちろん人は外見だけでなく、心も神に似せられていた。しかし、最初の人アダムが罪を犯した後、神の心に似ていた心が変わってしまい、次第に神と遠ざかってしまった。

3. 「わたしはある」という神だけがまことの神であり、ほめたたえて拝む対象

被造物である人とは違って、とこしえからとこしえまで「わたしはある」という神だけが完全なまことの神であり、私たちが拝んで愛する対象である。ところが、このような神を知らないで、金属や木、石のようなもので何かの形を作って、その前で拝んで偶像に仕えている人々がいる。

もし子どもが親のことがわからなくて、他の人に向かって「お父さん！」「お母さん！」と呼んだら、親の心がどれほど痛むだろうか。同じように、人が自分を創造された神を捜さないで偶像に仕えるなら、神のお心がどれほどお痛みになるだろう。だから、神は偶像礼拝を非常に嫌われる。

<出エジプト20:3~5>に「あなたには、わたしのほかに、ほかの神々があってはならない。あなたは、自分のために、偶像を造ってはならない。上の天にあるものでも、下の地にあるものでも、地の下の水の中にあるものでも、どんな形をも造ってはならない。それらを拝んではならない。それらに仕えてはならない。あなたの神、【主】であるわたしは、ねたむ神、わたしを憎む者には、父の咎を子に報い、三代、四代にまで及ぼし、」とある。「わたしはある」という神おひとりだけがまことの神なので、その方だけを拝んで仕えなければならない。

ここでもう一つ覚えておくべきことがある。それは、この地上に救い主として来られたイエス様も創造主の神とお一つなので、人がイエス様の親にはなれないということである。もちろんイエス様がこの地上に来られた時は、人となって来なければならないので、おとめマリヤのからだを借りたが、聖霊によって宿られた。

<マタイ1:18後半節>に「その母マリヤはヨセフの妻と決まっていたが、ふたりがまだいっしょにならないうちに、聖霊によって身重になったことがわかった。」とある。ここで「母」と言ったのは、弟子たちの立場で記したからである。人のように父の精子と母の卵子を通して両親の気を受け継いで宿られたのではなく、聖霊の力によって宿られたのだ。おとめマリヤのからだを借りて宿られただけである。

したがって、聖書を読むと、イエス様がおとめマリヤを「お母さん」ではなく、代わりに「女の方」と呼ばれていることがわかる。これは被造物である人が創造主である神の母になれないからである。ある人々はまるで神を拝むようにおとめマリヤを拝んでほめたたえているが、三位一体の神のほかに、どんな被造物も決して拝む対象になれない。

愛する聖徒の皆さん、

「わたしはある」という神は初めに光と声としておられた。永遠に愛を分かち合えるまことの子どもを得ようと、人を造って耕作するために三位一体の神として存在し始められた。創造主の神だけがまことの神だということを知り、ただ神だけを拝む幸いな信仰生活を送られるように、主の御名によって祈る。



Manmin Central Church

Tel: 82-2-818-7063
Fax: 82-2-818-7048
www.manmin.org
e-mail: jujinkyung@hotmail.com



Tel: 82-2-824-7107
Fax: 82-2-813-7107
www.gcntv.org
e-mail: webmaster@gcntv.org



Tel: 82-2-818-7039
Fax: 82-2-830-5239
www.wcdn.org
e-mail: wcdnkorea@gmail.com

万民ニュース

Japanese

発行人: イ・ジェロク
編集者: ピン・グンソン
www.manmin.org/Japanese
www.manminnews.com
編集発行: 万民中央教会
〒08389 韓国ソウル市クロ区デジタル路26キル29
TEL: 82-2-818-7063 FAX: 82-2-818-7048

「十字架」が表している意味は何だろうか？

木の十字架はキリスト教の象徴と言える。私たちに向けられた父なる神の愛、すなわち、イエス・キリストを通した救いの摂理が込められているからだ。十字架に込められている霊的な意味を正しく知って自分のものとし、神のみこころのとおり生きていくまことの子どもになられるように。

第一 ● 「祝福」を意味する

古代帝国で十字架刑は、凶悪犯や反逆者のように赦されない罪を犯した人に下される、むごたらしい刑罰だった。ところが、イエス様が呪われた罪人の代わりにこの十字架刑にあって、私たちが律法の呪いから贖い出してくださったのだ(ガラテヤ3:13)。

「律法の呪い」とは「罪から来る報酬は死」という霊の世界の法による呪いを意味する(ローマ6:23)。すべての人類はアダムの子孫として原罪を持って生まれ、自分でも罪を犯して生きていた。最初の人アダムが不従順の罪を犯すと、彼の血統を受け継いだすべての人が罪人として生まれ、罪の報酬である死の道へと行くことになったのだ。

ところで、罪人とされた人類を律法の呪いから解放させるには、誰かが代わりに呪いの代価を払わなければならなかった。これに神は、イエス様が呪いの象徴である木の十字架にかけられるように渡してくださった。

それで、イエス様を訪ねて来たニコデモに「モーセが荒野で蛇を上げたように、人の子もまた上げられなければなりません。それは、信じる者がみな、人の子にあって永遠のいのちを持つためです。」と言われたのだ(ヨハネ3:14~15)。

結局、イエス様は十字架を負われることによって敵である悪魔・サタンを打ち砕かれた。敵である悪魔・サタンは何の罪もないイエス様が死ぬようにして「罪から来る報酬は死」という霊の世界の法を自分から犯し、罪のないイエス様は死からよみがえられたのだ。したがって、十字架にかけられたイエス様を仰ぎ見るという意味は、敵である悪魔・サタンの死の力が打ち破られたことを信仰の目で見るといえる意味である。

このようにイエス様は呪いの象徴である十字架にかけられたが、それを信仰によって仰ぎ見るとき、永遠のいのちを賜物としていただくのだから、主を信じる者には十字架はこれ以上呪いの象徴でなく「祝福」を意味する。

第二 ● 「犠牲」を意味する

〈ヘブル9:12〉に「また、やぎと子牛との血によってではなく、ご自分の血によって、ただ一度、まことの聖所に入り、永遠の贖いを成し遂げられたのです。」とある。血を注ぎ出すことがなければ、罪の赦しはないので(ヘブル9:22)、イエス様はご自身が血を注ぎ出してくださることによって、罪の奴隷だった私たちが神の子ともたされることができるよう犠牲の代価を払ってくださったのだ。

十字架刑はまずむちで体を打つが、むちには鉄の玉、鋭い骨のかけら、鉄片などが埋め込まれている。むちで打たれば、深い打撲傷とともに肉が割れて裂かれていく。皮膚の下の骨格筋まで裂かれれば、肉は力なく垂れ下がるようになる。多くの血を流すので血圧が下がって、意識がもうろうとしたり気絶したりし、ひどい渴きを感じる。

このように満身瘡痍になった体で長さ2メートル、重さ40キロほどの十字架を背負って処刑場に到着すると、十字架に体を固定す

るために手首と足の甲に約13~18センチほどの太くて大きい釘を手首の真ん中に打ち込む。両足を上下に重ねて、足の甲の中央の二番目と三番目の骨の間に釘を打ち込むと、神経は完全に破壊される。

手足が十字架につけられたまま垂直につるされると、腕が引き伸ばされてすべての骨が外れる。体重によって腕が伸びきって、肩の骨がよじれて両肩は脱臼する。酸素が供給されなくて息を吸うのが難しくなるので、血液は二酸化炭素過剰で酸性が増して心臓は不規則に打ち、気絶しては目を覚ますを繰り返して結局死に至る。

十字架刑は人間が体験する苦しみの中で最悪の苦しみを感じさせる死刑法だ。救われた聖徒はイエス様がどれほど大きい犠牲を払われたかを骨身に凍みるほど感じるだけでなく、神がひとり子を惜しまず渡してくださった愛も深く悟らなければならないだろう。

第三 ● 「愛」を意味する

〈第一ヨハネ4:10〉に「私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、なだめの供え物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。」とある。神が私たちを愛し、私たちが犯した罪を赦してくださるためになだめの供え物として御子を遣わされて、十字架刑を受けるようにされたということだ。

父なる神はイエス様が受けられる十字架の苦しみがどれほど大きいのかをご存じだったが、私たちを愛しておられるので、このことをあえてなされたのだ。罪人とされた人の子らを救う道はこの道しかなかったからである。敵である悪魔・サタンは想像すらできない方法だった。イエス様も公義をはるかに超える犠牲的な愛で人類に救いの道を開いてくださった。

私たちは十字架を見るたびに、ひとり子イエス様をあれほどむごたらしい死に渡して下さるほど、父なる神が私たちを愛されたということを再確認しなければならない。この愛を心で感じた人は、その時から人生の理由と目的が変わる。

使徒パウロが「私はキリストとともに十字架につけられました。もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。いま私が肉にあって生きているのは、私を愛し私のためにご自身をお捨てになった神の御子を信じる信仰によるのです。」(ガラテヤ2:20)と告白したように、私たちが信仰によって主のみこころを追い求め、ただその方の栄光のために生きていかなければならないだろう。

11月支教会スケジュール

11月3日(木)	舞鶴万民教会	特別伝道リバイバル聖会(講師:キム・マルコ牧師)	11月27日(日)	大阪万民教会	リバイバル癒し聖会(講師:キム・マルコ牧師)
11月6日(日)	山形万民教会	創立19周年記念礼拝(講師:柳 ^{やなぎ} スンギル牧師)	11月30日(水)	飯田万民教会	権能いやし聖会(講師:柳 ^{やなぎ} スンギル牧師)
11月27日(日)	名古屋万民教会	癒しの集会(講師:時國みや子牧師)	11月30日(水)	松本万民教会	リバイバルいやし集会(講師:伊藤正明牧師)

「楽に呼吸して 自由に歩けるなんて 夢のようです」

キム・ヨンジ執事(64歳、3大大30教区)

かなり前から私には不整脈があったのですが、2016年2月26日(金)、しばらく横になって起きようとした瞬間、右側に麻痺がやって来ました。感覚もなく、起きることもできなくて、左手で携帯に保存されていた堂会長イ・ジェロク牧師先生のいやしの祈りを受けて、下の娘に電話をかけて私の状態を知らせました。救急車に載せられて病院に移された私は脳梗塞と診断され、集中治療室にいたことになりました。下の娘は教会の区域員に連絡して祈りを願いました。私は病室で堂会長先生のいやしの祈りを続けて受け、神



様の前にふさわしくなかった姿を顧みると、仕えられずにさばいたことなどが思い浮んで悔い改めました。

さてその翌朝、奇跡が起こりました。お医者さんが「右手を上げてみてください」と言いましたが、上がるのです。とても感謝しました。幸い一般病室に移れましたが、まだ娘の介助なしには食べることも、シャワーも、トイレに行くこともできませんでした。

二日後の29日(月)「2回連続特別ダニエル徹夜祈祷会」の初日、私は病室でGCN放送(www.gcntv.org)を見ながら堂会長先生

の祝福の祈りを受けました。その後、驚くほど急速に回復して、一週間で退院できたのです。

3月20日(主日)、私は杖をついてでもひとりで歩けることがとても感謝で、女性宣教会献身礼拝に心を尽くして備えました。その日、堂会長先生と握手をした瞬間、右足に力が入るのが感じられました。そして、杖をつかなければならなくても、歩くのがはるかに楽になりました。

4月10日(主日)の早朝、夢に堂会長先生が現れて、両目に涙をいっぱいたたえたまま私の手を握ってください「立ちなさい」と言われました。眠りから覚めた後、立ってみると、脚に力がさらに与えられて杖なしでも歩けたのです。ハレルヤ!

一日断食をした後、5月26日(木)、堂会長先生のお誕生日礼拝に参加しましたが、講壇に上がられる先生の姿を見た瞬間、とめどなく涙が流れて、心臓がじりじりと焼けるような感じがしました。礼拝が終わった後にやっとその感じが消えました。その後、脈も力強く打って、体にさらに力が与えられて、前は階段を上ろうとすると息が切れて何度も休まなければならなかったのですが、一気に上られるようになりました。

さらに今年8月初め「2016年万民夏のキャンプ」初日のいやしの集会の時、堂会長先生の祈りを受けた後は、飛蚊症(目の前にホコリや虫のようなものが漂う症状)がなくなりました。また、視力まで回復して、前は老眼鏡でも小さい字が見えなかったのですが、今は老眼鏡なしに小さい字まで見えるようになりました。日が経つにつれて信仰を加えてくださり、細やかな愛で祝福された父なる神様にすべての感謝と栄光をお帰しします。

「15年もの皮膚病の苦しみ から抜け出したので 平安と幸せがあふれています」

フィル・ボボ兄弟(25歳、イル＝ド＝フランス万民教会)

私は八歳の時から15年間、アトピーの一種のひどい皮膚病を病んでいました。病院では完治の可能性がないと言われ、ただコーチゾン(ステロイドの一種)を投与して苦しみを減らすだけでした。ひどい時は食べることも、歩くことも、眠ることも、勉強に集中することも大変でした。こんな病気との長い間の戦いにも全く表情に出さずに過ごしていたので、人は私の苦しみを知らなかったのです。ひたすら家族の助けと神様がともにおられるという信仰で克服していき、学業に最善を尽くしました。

幸いにも、フランスで少数のエリートだけが入る高等職業教育機関グランゼコールに入学できるように神様は祝福してくださいました。3年間は 대기업でインターンとして勤め、奨学金をもらって勉強できました。そのうち母が2012年、職場の同僚の紹介で堂会長イ・ジェロク牧師先生の説教を聞いた後、とても恵みを受けて私にも聞いてみるよう勧めました。それで、私もインターネットで万民中央教会の礼拝をささげることになったのです

2014年5月、イ・ヒソン牧師先生(万民全支教会総指導教師)がベルギーに来られるという知らせを聞いて、両親と一緒に集会に参加しました。いやされることを慕って、堂会長イ・ジェロク牧師先生が祈って神の力が込められたハンカチ(使徒19:11~12)で祈りを受けました。そしてすぐに薬をやめました。一週間後から神様のみわざが現れ始めました。分厚いかさぶたが自然にはがれると、皮膚が再生していくのです。あれほど長く薬を服用しても経験したことがない、夢のようなことでした。人や医学ではどうていできない、ただ神様だけにおできになる驚くべきみわざでした。

その年の6月末、両親と一緒に万民中央教会を訪問して、堂会長先生に感謝の挨拶をして直接祈りを受けました。そして、奇跡のムアンの甘い水の泉に身を浸しましたが、皮膚はもっと良くなってつるつるになったのです。時間が経つほどやわらかくなって、傷跡も消えています。ハレルヤ!

2016年7月末には、休暇を取って母と一緒に万民中央教会を訪問しました(写真)。各種の礼拝とダニエル徹夜祈祷会などに参加して、霊的に満されて最も美しい天国、新しいエルサレムへの希望で幸せな心になって帰って来ました。

聖めを強調するいのちのみことばと祈りの生活は私のたましいにまことの喜びと希望を加えています。このように価値ある生き方をしていけるように導いて祝福された父なる神様に感謝と栄光をお帰しし、尊いみことばで導いておられる堂会長先生にも深く感謝いたします。



主日大礼拝、主日夕方礼拝、金曜徹夜礼拝はソウルの万民中央教会の礼拝をNSS-6衛星で同時にささげています。

・イエス・キリスト飯田万民教会

〒395-0807 長野県飯田市鼎切石 3883-4
T) 0265-56-8286
<http://iidamanmin.to.cx/>

・名古屋万民教会

〒465-0014 名古屋市長東区上菅 1-916
T) 052-774-8874

・イエス・キリスト山形万民教会

〒999-3716 山形県東根市蟹沢 1486-4
T) 0237-43-0771

・イエス・キリスト別府万民教会

〒874-0924 大分県別府市餅ヶ浜町 4-41
T) 0977-23-8980

・イエス・キリスト大阪万民教会

〒591-8023 大阪府堺市中百舌鳥町 5-775-15
T) 072-220-5289
<http://www.osmanmin.com/>

・イエス・キリスト旭川万民教会

〒071-8144 北海道旭川市春光台4条 3丁目 11-23
T) 0166-53-0652

・イエス・キリスト東京田端万民教会

〒114-1102 東京都北区田端新町3丁目36-1 栄ビル2F
T) 03-3809-3326
<http://tabata.manmin.or.kr/>

・イエス・キリスト松本万民教会

〒399-0033 長野県松本市笹賀 4343
T) 0263-57-0003

・イエス・キリスト舞鶴万民教会

〒624-0913 京都府舞鶴市上安久 138
T) 0773-75-5656
<http://www.manmin.jp/>

・岡山万民教会

〒716-1321 岡山県高梁市有漢町有漢3206
T) 0866-57-9691

・イエス・キリスト東京万民教会

(東京万民宣教センター)
〒167-0051 東京都杉並区荻窪 2-29-13
T) 03-6915-1740

・イエス・キリスト沖縄万民教会

〒901-2212 沖縄県宜野湾市長田1-28-10 サンライフ米須301号
T) 098-988-9472